

第3期まちづくり市民会議（第7回）議事録

■日 時	2013年10月17日（木） 午後7時～午後9時10分
■場 所	太田市役所 10階 政策推進会議室
■出席者	委 員 福島会長、石倉副会長、青木委員、川原委員、中本委員 事務局 高橋課長、富岡係長代理

【目 的】

- ・ 検討テーマの提言に向けた内容確認、可能性について協議を行う。

【会議概要】

1. 協議事項

(1) 今後のタイムスケジュールについて

- ・ 提言書提出までのスケジュールの確認を行った

(2) 「町内会・区長会運営の改革提言」の評価確認について

- ・ 第1期まちづくり市民会議提言に対する第2期まちづくり市民会議におけるフォロー後の現状について確認する。
- ・ 第2期のフォローで担当課から回答を得ているが、実態としてできていないところが見られる。第3期としてもフォローしていくこととする。
- ・ 区長の選出方法が地区によって様々な方法が取られているようである。実際には大変かもしれないが、統一した選出方法（選挙等）が必要ではないかと考える。
- ・ 区長のハードルを上げると、なり手がいなくなるのではないかと危惧する意見を現職の区長から伺った。
- ・ 正副会長で、担当課にヒアリングを実施したいと考えている。次回の定例会までに実施し、会議の中で報告したい。（全委員が了承する）

(3) 「財政健全化実現のための提言」の検討について

- ・ 健全財政の維持と更なる改革により各種団体に対する補助金等が無駄なく活用されることを望んでいる。
- ・ 「交付金・助成金・委託員・負担金・補助金等」について、支出目的・支出先・金額などの現状を市民に情報公開し、関係団体に所属している市民と痛みを分かち合い、次世代の負担の軽減となるような提言をしたい。
- ・ 内容を分析して指摘することは難しいので、現状をオープンにさせていただくような提言が良いのではないかと。

- ・本来、使わなくても良い事業に使われていることもあるのではないかと考える。
- ・まちづくり基本条例が施行されてから、財務状況の市民への説明は分かりやすく非常に透明性の高いものとなっている。

(4) 「コンパクトなまちづくりについての提言」の検討について

- ・中心市街地は商業施設のみならず、公共施設（警察署、消防署等）なども広い土地を求めて郊外に移転してしまった。この傾向は現在も進んでいる。
- ・このことが、空き家・空地の増加を招き、人口減少、超高齢化地域の出現となった。
- ・歩いていける範囲を生活拠点と捉え、コミュニティの再生や住みやすいまちづくりを目指し、生活拠点の年齢別構成のバランスの取れたまちを模索したい。
- ・「コンパクトな都市」とは、「都市を小さくする」ことではなく、概念的には「質の高い生活空間を充足し、中身を濃くすることだ」と考えている。
- ・郊外への大規模な住宅団地の整備ではなく、サイズの小さいものにすべきである。
- ・太田市全体の空き家は8%程度、これをうまく活用することを考えないといけない。他市の例であるが、空き家を積極的に活用しているところがある。空き家を改造可能とし、定住者を増やす施策を行っている。
- ・北口再開発は現状として進んでいない。商業施設を誘致するにも地域の購買力がないために商売が成り立たないようである。
- ・全世代を対象とするのではなく、ある一定の世代を対象とした店舗が良いのではないかと。例えば、シルバー世代を対象とした店舗などである。

(5) 提言書作成に向けての検討

- ・「財政健全化実現のための提言」及び「コンパクトなまちづくりについての提言」の2本について提言書としてまとめるか、次回の会議で結論付けたい。
- ・委員それぞれが提言に係る意見書を10月31日までに事務局宛に提出
- ・意見をまとめ、次回定例会前に各委員へ報告する。事前に内容の確認をお願いしたい。

(6) 議会基本条例制定に向けた議員アンケートの検討について

- ・資料を確認し、提言に係る意見書と同様に、10月31日までに意見書を提出する

■次回会議

第8回まちづくり市民会議

【日時】11月21日（木） 午後7時～

【場所】太田市役所10階 政策推進会議室